



12月市議会

根本みはる市議の一般質問その①

不登校児童生徒への支援

日本共産党は、当事者である子どもや保護者の声を踏まえて、今年5月、不登校についての提言を発表しました。不登校が自己責任として、子どもも保護者も追い詰められてきた経緯から「子どもの権利を尊重し、子どもも保護者も安心できる支援を」の第1の柱とし、「不登校への支援の基本を、子どもの心の傷への理解と休息・回復の保障にすえる」「親への支援を厚くし、親の安心を増やす」「子どもの居場所、

学びの場の条件整備」としています。

不登校児童生徒への支援

Q パルクはあとラウンジ、校内はあとラウンジの利用状況は。

A 令和7年度10月末のパルクはあとラウンジ登録者数は、小学校52人、中学校68人。令和6年度の校内はあとラウンジ利用者数は、小学校450人、中学校336人。

Q 校内はあとラウンジの専任職員の体制は。

A はあとラウンジスタッフを専任職員として、小学校3校、中学校2校に配置。

専任職員が配置されていない学校には、心の相談員を配置し、専任職員と心の相談員のどちらかを、市内小・中学校全校に配置。

Q 課題への対応は。

A 不登校児童生徒の状況は様々で、一人一人に合わせた支援が必要だと考える。校内はあとラウンジを利用する児童生徒のために、校内はあとラウンジの支援内容の充実が課題。

支援内容の充実として、現在、はあとラウンジスタッフや心の相談員は年に3回の動画研修を行い、力量向上を図っている。

パルクとよたの居場所みつけアドバイザーが各校を訪問し、はあとラウンジスタッフの支援や助言を行っている。さらなる力量向上のため研修や支援等の充実を図る。

学校生活の支援や学習支援を行う専門職員の配置に

については、校内はあとラウンジの支援内容の充実を検討する中で総合的に考える。

不登校児童生徒の家庭への支援

Q 不登校児童生徒数、フリースクール等の利用者数と補助制度利用者は。

A 表：令和7年度10月末の状況

	小学校	中学校
不登校児童生徒数	269人	539人
フリースクール等を利用している児童生徒	57人	51人
フリースクール等利用支援補助金利用者数	3人	3人

Q 不登校児童生徒の保護者の意向把握は。

A 保護者の意向は、保護者にとって身近な存在である各学校の教職員やスクールソーシャルワーカーが把握するよう努めている。

学校は、担任が家庭訪問や懇談会等で丁寧に保護者の意向を把握し、様々な居場所や制度の紹介を行っている。

また、各学校担当のスクールソーシャルワーカーは、保護者の相談内容から、必要に応じて関係機関につないでいる。

なお、パルクとよたのホームページにも様々な情報を掲載し、いつでも活用できるように整備している。

根本意見

フリースクールを利用している子どももすべてが補助の対象となっていないと考える。子どもが経済的な不安定さの中で、フリースクールをようやく見つけて、行きたいという気持ちの後押しする制度が必要。

Q フリースクール等利用支援補助制度の拡充を。

A 6年度から始まった制度で、今後の利用状況等を参考にし、効果検証を行っていきたいと考える。



11月13日午後、碧南で初めて西三河年金一揆を開催。全体で140人が参加。豊田からは電車やマイカーを利用して45人が参加しました。

集会では、碧南支部の大村美恵さん（平和行進通し行進者で、豊田の平和行進にも参加）の平和行進の報告や、豊田支部からは「上を向いて歩こう」「手のひらを太陽に」を披露、足助グループから7人が出演し、碧

若者も高齢者も安心の年金を 年金増やせと140人のデモ行進

西三河年金一揆



南、岡崎の支部の出し物が披露され、会場は大盛り上がりとなりました。

西尾支部の和太鼓演奏に見送られて、年金を増やせ、核兵器はいらない、と声をはりあげて碧南中央駅までデモ行進。来年2026年の年金一揆は豊田市内で開催します。

金曜行動 柏崎刈羽原発再稼働NO

12月12日(金)

午後6時～7時

豊田市駅西マック横広場集合

主催：さよなら原発豊田市民行動連絡会



子どもの権利を実現するために 正規保育士の増員を 豊田のこども園を考える会 講演と総会

日時 12月13日(土)10:00

場所 豊田市福祉センター
4階45会議室

講演 中村 強士 日本福祉大学准教授

あいち保育研究所事務局長

愛知県子どもの居場所づくり推進会議委員長

報告 豊田市における保育制度改善の取り組み

根本みはる 市議会議員

【どなたも参加できます】

- ◆法律相談は弁護士が
第2土曜日 午前10時～12時で
- ◆生活相談は随時、根本議員が対応
- ◆法律相談は要予約。お申し込みは
日本共産党西三地区委員会まで
電話 0564-23-2785
- ◆生活相談は根本議員まで
電話 0565-34-4772

無料

法律・生活相談
おこなっています



根本みはる
豊田市議会議員



もとむら伸子
衆議院議員



すやま初美
党中央委員